



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月5日

上場会社名 日産東京販売ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8291 URL <https://www.nissan-tokyo-hd.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 信也
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経理部長 (氏名) 米澤 領一 (TEL) 03-5496-5203
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	74,872	1.8	2,092	18.6	1,856	27.0	1,344	61.5
30年3月期第2四半期	73,565	16.8	1,764	10.8	1,462	12.6	832	△17.4

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 1,330百万円(△13.9%) 30年3月期第2四半期 1,546百万円(61.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	20.27	—
30年3月期第2四半期	12.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	83,118	40,730	47.4
30年3月期	87,494	39,983	44.2

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 39,433百万円 30年3月期 38,707百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
31年3月期	—	0.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	153,000	0.6	4,700	1.8	4,100	1.0	2,400	9.7	36.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	66,635,063株	30年3月期	66,635,063株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	239,155株	30年3月期	315,975株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	66,347,226株	30年3月期2Q	66,272,826株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における全国の新車販売台数は、前年同四半期比0.0%増（登録車1.9%減、軽自動車3.5%増）と前年並となりました。

当社グループのマーケットである東京都内の新車販売台数につきましては、同1.2%減（登録車1.8%減、軽自動車1.5%増）となっております。

当社グループの新車販売台数は、電動化技術のe-POWERを搭載した「ノート」「セレナ」や電気自動車の「リーフ」が引き続き堅調に推移し、前年並の15,181台（前年同四半期比16台増、0.1%増）となりました。

また、中古車販売・自動車整備事業も厳しい環境の中、堅調に推移した結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は74,872百万円（前年同四半期比1,306百万円増、1.8%増）、営業利益は2,092百万円（前年同四半期比328百万円増、18.6%増）、経常利益は1,856百万円（前年同四半期比394百万円増、27.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,344百万円（前年同四半期比511百万円増、61.5%増）と増収増益となり、第2四半期連結累計期間としては、売上高は過去最高、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては過去2番目の業績となりました。

当社グループは、自動車関連事業及び情報システム関連事業を主な事業として展開しており、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

① 自動車関連事業

「ニッサン インテリジェント モビリティ」の取り組みにより開発された「EV（電気自動車）」、「e-POWER」の電動化技術搭載車および「プロパイロット」等の智能化技術搭載車をお客さまにアピールするとともに、「お客さまのニーズに合わせた提案型営業による付加価値販売」に継続して取り組んだ結果、新車販売が「ノート」「セレナ」「リーフ」を中心に堅調に推移いたしました。

中古車販売につきましては、小売販売は苦戦いたしました。オークション等の卸売販売が好調に推移いたしました。また、自動車整備事業での入庫増もあった結果、売上高は71,191百万円（前年同四半期比2,321百万円増、3.4%増）、セグメント利益（営業利益）は2,188百万円（前年同四半期比332百万円増、17.9%増）と増収増益となりました。

② 情報システム関連事業

前連結会計年度において大規模なパソコン代替案件が終了したことなどによりハードウェアおよび導入支援サービスの売上が減少した結果、売上高は3,506百万円（前年同四半期比989百万円減、22.0%減）、セグメント利益（営業利益）は266百万円（前年同四半期比8百万円減、3.0%減）と減収減益となったものの、データセンターなどのマネージドサービス事業が堅調に推移し、セグメント利益（営業利益）は前年同四半期に次ぐ過去2番目の業績となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第2四半期連結会計期間末における総資産は83,118百万円（前連結会計年度比4,376百万円減、5.0%減）となりました。主な内容は、現金及び預金が314百万円、受取手形及び売掛金が1,010百万円、商品が1,533百万円、その他流動資産が945百万円、有形固定資産が365百万円減少しております。

② 負債

当第2四半期連結会計期間末における負債は42,387百万円（前連結会計年度比5,122百万円減、10.8%減）となりました。主な内容は、買掛金が2,582百万円、その他流動負債が1,826百万円、1年内を含む長期借入金が448百万円、長短リース債務が175百万円減少しております。

③ 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産は40,730百万円（前連結会計年度比746百万円増、1.9%増）となりました。主な内容は、配当金の支払がありました。親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことにより利益剰余金が812百万円増加し、その他有価証券評価差額金の減少などによりその他の包括利益累計額が102百万円減少しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績はほぼ計画通りに推移しており、現時点におきましては、平成30年5月11日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,233	9,919
受取手形及び売掛金	8,702	7,691
商品	10,061	8,527
仕掛品	318	308
貯蔵品	34	30
その他	4,343	3,397
貸倒引当金	△7	△5
流動資産合計	33,685	29,868
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	7,402	7,165
リース資産（純額）	6,348	6,173
土地	17,695	17,696
その他（純額）	7,696	7,741
有形固定資産合計	39,142	38,777
無形固定資産		
のれん	1,174	1,129
その他	247	229
無形固定資産合計	1,422	1,358
投資その他の資産		
投資有価証券	4,757	4,654
繰延税金資産	3,127	2,970
その他	6,014	6,167
貸倒引当金	△656	△679
投資その他の資産合計	13,243	13,112
固定資産合計	53,808	53,249
資産合計	87,494	83,118

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	16,539	13,957
1年内返済予定の長期借入金	896	908
リース債務	469	464
未払法人税等	276	356
賞与引当金	1,360	1,303
資産除去債務	160	160
その他	7,678	5,852
流動負債合計	27,381	23,002
固定負債		
長期借入金	1,860	1,400
リース債務	5,879	5,709
繰延税金負債	214	206
退職給付に係る負債	11,626	11,517
資産除去債務	403	405
その他	146	146
固定負債合計	20,129	19,385
負債合計	47,510	42,387
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,752	13,752
資本剰余金	256	247
利益剰余金	22,316	23,129
自己株式	△101	△75
株主資本合計	36,224	37,053
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,211	2,135
退職給付に係る調整累計額	271	245
その他の包括利益累計額合計	2,483	2,380
非支配株主持分	1,276	1,296
純資産合計	39,983	40,730
負債純資産合計	87,494	83,118

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	73,565	74,872
売上原価	56,776	57,851
売上総利益	16,789	17,021
販売費及び一般管理費	15,025	14,928
営業利益	1,764	2,092
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	52	61
雑収入	26	21
営業外収益合計	79	84
営業外費用		
支払利息	68	65
支払手数料	126	125
貸倒引当金繰入額	93	21
雑損失	93	107
営業外費用合計	381	320
経常利益	1,462	1,856
特別利益		
投資有価証券売却益	55	3
受取補償金	—	※1 100
特別利益合計	55	104
特別損失		
固定資産除売却損	18	10
特別損失合計	18	10
税金等調整前四半期純利益	1,499	1,950
法人税、住民税及び事業税	177	325
法人税等調整額	403	195
法人税等合計	580	521
四半期純利益	918	1,429
非支配株主に帰属する四半期純利益	85	84
親会社株主に帰属する四半期純利益	832	1,344

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	918	1,429
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	661	△71
退職給付に係る調整額	△33	△26
その他の包括利益合計	627	△98
四半期包括利益	1,546	1,330
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,457	1,241
非支配株主に係る四半期包括利益	88	88

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

- ※1. 当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)の特別利益に計上しております「受取補償金」は、当社連結子会社(自動車関連事業)の事業所の収用に係る移転補償金であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	自動車 関連事業	情報システム 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	68,870	4,496	73,366	199	73,565
セグメント間の 内部売上高又は振替高	2	204	206	—	206
計	68,872	4,700	73,572	199	73,772
セグメント利益	1,855	274	2,130	63	2,194

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,130
「その他」の区分の利益	63
全社費用(注)	△429
四半期連結損益計算書の営業利益	1,764

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係るものであります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他（注）	合計
	自動車 関連事業	情報システム 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	71,191	3,506	74,698	173	74,872
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1	193	194	—	194
計	71,193	3,699	74,893	173	75,067
セグメント利益	2,188	266	2,454	68	2,522

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,454
「その他」の区分の利益	68
全社費用（注）	△430
四半期連結損益計算書の営業利益	2,092

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係るものであります。